

- 1 審議会名 真田中央公民館運営審議会
- 2 日 時 平成25年2月13日 午後5時30分から午後6時45分まで
- 3 会 場 真田中央公民館 小会議室
- 4 出席者 芳沢孝夫委員長、齊藤文一委員、武捨敦夫委員、小林晴美委員
- 5 市側出席者 藤沢久雄公民館長、春原茂次長、中村文昭統括主査
- 6 公開・非公開等の別 公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
- 7 傍聴者 0人 記者 0人
- 8 会議概要作成年月日 25年2月14日

協 議 事 項 等

- 1 開 会 (事務局)
- 2 あいさつ (藤沢公民館長、芳沢委員長)
- 3 協議事項 (進行: 芳沢委員長)
 - (1) 平成24年度事業報告、平成25年度事業計画
(事務局) 会議資料により平成24年度主要な公民館事業報告、平成25年度事業計画を一括で説明し、質疑意見等を伺った。
(委員) ふれあい夢コンサートだが、24年度は上智大学でなかったのはなぜか。
(事務局) 今年度は、目先を変えて、真田地域の人や真田地域出身者の人を育てる、地域の人に紹介するという視点に立って開催した。平成25年度については、白紙の状態である。
(委員) 参加者数はどうだったか。アンケートでも上智大学が良いという意見があったと思うが。
(事務局) 参加者数は、例年と同数位であった。確かに上智大学のリピーターの人がいるのも事実。
(委員) 始めた当初は、菅平に合宿に来ている学生に発表の場を与えるという、観光振興と文化振興をタイアップしていた経過がある。
(事務局) どのようなスタンスで実施したらよいか、意見等を聞き今後検討したい。
(委員) 公民館学級(講座)で千曲川の源流を探る講座を開いたらどうか。
(事務局) 上下水道局等でも実施している千曲川の源流を探る企画は、人気が高くすぐに一杯になると聞いている。真田中央公民館で実施する講座については、真田に関係があり、真田地域の人を育て、地域を育てることにつながるという視点で実施していきたい。例えば、真田地域にも多くの川があるので、その資源を活用する方がよいのではないか。
(委員) 過去にも真田の自然を活用した講座があった。受講者自らが目的地を設定して、その場所をめぐるという講座。
(委員) 調理室を含めての公民館だが、真田中央公民館の調理室は使いにくい。
(事務局) 1階にある調理室は、公民館ではなく、健康福祉課の保健センター管理の調理室なので、当然のことではあるが、食中毒やノロウイルスなど衛生上の制約が厳しい。11月以降は、ノロウイルスの危険があるので使用できない。
(委員) 社会福祉協議会の調理室は使いやすい。使いやすい調理室があれば、講座などの幅も広がる。
(委員) 本原小学校で行っていた真田側から登る烏帽子登山が24年で最後となった。とても良いことであるので、公民館として何かできないか。烏帽子登山はとても大事であると思う。本原小学校から6時30分に出発し12時に頂上へ着く。
(委員) 昔、町民登山があった。赤井からは4時間かかる。長小学校は、四阿山登山を行なっている。
(事務局) 真田側からの烏帽子登山の往復は時間もかかるため、登りのみ真田側から行き、下りるのは湯の丸側とし、バスで帰ってくるなど方法を考えて検討したい。
(事務局) 後日でも良いので、良い企画があれば連絡をお願いしたい。

(2) 学社連携について

(事務局) 平成 2 4 年度、真田地域教育事務所として現在までの取組状況を説明

(委 員) 学校側として、支援ボランティアはとてもありがたい。現在、真田地域内の小学校にどのような支援が必要か、個人情報の心配もあるので条件などについて各学校に照会している。それらを本原小学校でまとめ、公民館へ提出する予定。段階を踏んで進めていきたい。

(事務局) 今後も進めていきたいので、運営方法や人材探しなどご協力をお願いしたい。

4 閉 会